

第17回おうめ子ども俳句コンテスト

世界最小の詩とも呼ばれる「俳句」に触れ、四季を感じながら学習する機会として、「第17回おうめ子ども俳句コンテスト」を実施します。

日常生活の実体験や感じたことを、季節を入れて五・七・五で表し、ご応募ください。

応募期限 10月2日(金)

応募資格 市内在住の小・中学生

テーマ 自由

応募方法 市内の小・中学校の部各学年1人

学校、各市民センター、ネットたまぐーセンタ、社会教育課(市役所3階)、中央図書館で配布する応募用紙に記入し、備え付けの応募箱に入れてください。

※1人3句まで応募可
※作品は自分で考えた未発表作品のみ
各賞 審査員特別賞：小・中学生の部各1人
▽教育委員会賞：小・中学生の部各学年1人

私立幼稚園等に通う園児の保護者へ

補助金交付申請を受け付けます

私立幼稚園、認定こども園(教育部分)または幼稚園類似の幼児施設等に通園している園児の保護者に対し、補助金を交付しています。

私立幼稚園施設等 利用費補助金

対象 私立幼稚園(新制度に移行した園を除く)に通園している園児の保護者で園児が市の住民基本台帳に登録されている方

対象 私立幼稚園または認定こども園(教育部分)、幼稚園類似の幼児施設等に今年度入園した園児の保護者で、園児が市の住民基本台帳に登録されている方

対象 私立幼稚園(新制度に移行した園を除く)に通園している園児の保護者で園児が市の住民基本台帳に登録されている方

私立幼稚園等

園児保護者補助金

対象 私立幼稚園または認定こども園(教育部分)、幼稚園類似の幼児施設に通園している園児の保護者で、園児が市の住民基本台帳に登録されている方

申請方法 幼稚園等を通じて申請書類を配布します。記入後、園に提出してください。園が一括して申請します。

※園に申請書類がない場合は、市から送付しますので、ご連絡ください。

問い合わせ 子育て推進課 保育・幼稚園係



▽入選：小・中学生の部各学年2人

表彰式 11月21日(土) 午前10時から・ネットたまぐーセンター

作品展示 入選作品を市教育委員会ホームページに掲載、ネットたまぐーセンター1階展示交流スペースに展示し

ます。(11月下旬予定) **問い合わせ** 社会教育課

昨年度の審査員特別賞作品

小学生の部：堀口和希さん(四小2年) **かぶと虫**
中学生の部：鹿島俊英さん(六中2年) **ぼくからにげるにがさない**
夏休み **祖父母とめぐるお城旅**



△昨年の展示

青梅市ファミリー・サポート・センター 利用希望者入会説明会

日時 7月18日(土) 午前10時30分~11時30分

会場 福祉センター集會室

対象 3か月~小学生の保護者で、子育てのお手伝いを必要とする方

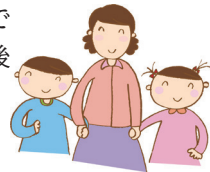
登録料・年会費無料

※別途利用料

持ち物 印鑑

申し込み 17日までに電話☎23-3888、☎23-9338で青梅市ファミリー・サポート・センターへ(午前8時30分~午後5時)

※入会は随時受け付け可



ゴックンクラス (離乳食教室・初期)

日時 7月21日(火) 午前10時~11時

会場 健康センター

対象 4~5か月児と保護者

内容 離乳食の始め方、この時期の離乳食の作り方

※試食はありません。

定員 先着10組(予約制)

費用無料

持ち物 バスタオル、ミルク(お湯も含む)、おむつなど外出時に必要なもの

申し込み 電話☎23-2191で健康センターへ

ビーバークラス (5歳児むし歯予防教室)

日時 7月18日(土) 午前10時~11時15分

会場 健康センター

対象 就学前の5~6歳児と保護者

内容 よく噛むことの大切さ、1人で上手に磨けるように歯磨きの練習

指導 歯科衛生士、管理栄養士

定員 先着8組(予約制)

費用無料

持ち物 歯ブラシ、タオル

申し込み 電話☎23-2191で健康センターへ

むし歯予防教室

日時 7月22日(水) 午前10時~11時30分

会場 健康センター

対象 8か月~1歳未満のお子さんと保護者

内容 乳歯のむし歯予防、歯の磨き方、離乳食の食べさせ方

指導 歯科衛生士

定員 先着10組(予約制)

費用無料

持ち物 仕上げ磨き用歯ブラシ、バスタオル

申し込み 電話☎23-2191で健康センターへ

7月は「愛の血液助け合い運動」月間

夏は献血者が少なく、輸血用血液が不足しがちです。皆さんの善意に支えられる献血にご協力ください。

献血は、日本赤十字社の献血ルームや献血バスなどで受け付けています。また、立川献血ルーム(立川市曙町2-7-1) 休館日を除く

17丸井・井上共同ビル地下1階)では、常時受け付けています。

受付時間

▽全血献血：午前10時~午後5時45分

▽成分献血：午前10時~午後5時

※12月31日、1月1日、休館日を除く

また、「骨髄バンクドナー登録」にもご協力ください。

問い合わせ 立川献血ルーム☎042-527-1140



青梅市医師会健康コラム66 肺炎は身近な病気です

手遅れにならないよう早めの受診を

肺炎とは文字通り肺に炎症が起こることです。肺炎の原因の多くは鼻・口から入ってきた病原体(細菌、ウイルスなど)による感染症です。「細菌」には肺炎球菌やマイコプラズマなどがあり、「ウイルス」にはインフルエンザや今大きな問題になっている新型コロナウイルスなどがあります。

病原体が鼻・口から入りのどまでの範囲で炎症を起こせば、かぜまたは上気道炎です。それより先にある気管から肺までの下気道は、外からの侵入物があるとせきで追い出したり、免疫細胞が働いてたんとして追い出します。しかし、これらの

肺炎とは文字通り肺に炎症が起こることです。肺炎の原因の多くは鼻・口から入ってきた病原体(細菌、ウイルスなど)による感染症です。「細菌」には肺炎球菌やマイコプラズマなどがあり、「ウイルス」にはインフルエンザや今大きな問題になっている新型コロナウイルスなどがあります。

病原体が鼻・口から入りのどまでの範囲で炎症を起こせば、かぜまたは上気道炎です。それより先にある気管から肺までの下気道は、外からの侵入物があるとせきで追い出したり、免疫細胞が働いてたんとして追い出します。しかし、これらの

手段で防御しきれなくなると、病原体がいちばん奥の肺胞に達し増殖して、肺炎を起こします。加齢により体の防御反応が落ちるに従い、肺炎のリスクは上がります。肺炎の症状は、高熱、せき、たん等が主ですが、高齢者や新型コロナウイルスによる肺炎の場合は、微熱や症状が出にくいことがあるので、体調がふだんと違うと感じたら早めに医療機関を受診してください。

肺炎予防として、肺炎球菌ワクチンは65歳以上の方に接種が勧められています。一度接種すれば5年間は有効です。ただし、ワクチンが有効なのは肺炎球菌性肺炎のうち70%程度です。また、インフルエンザワクチン

は効果の持続が4~5か月間程度ですので、流行期に入る前の11月ごろに受けるのがよいでしょう。新型コロナウイルスは、国民の大多数にまだ免疫がなく、ワクチンもないので大きな問題になっていますが、いずれはワクチンが開発され季節性インフルエンザのようになつていくでしょう。それまでは手洗い、マスク着用、接触機会を減らすことが予防になります。

肺炎の治療は、細菌性肺炎に対しては原因菌に合った抗菌薬が効果を示します。軽症なら外来治療が可能です。全身状態が悪かったり酸素化が悪ければ入院治療になります。インフルエンザは有効な抗ウイルス薬があります。いずれにしても肺炎は早期発見、早期治療が大切です。

問い合わせ 健康センター☎23-2191